

平成 27 年 8 月 7 日
千葉木鶏クラブ
(363 回 例会)

孔子と『論語』(第 9 回)

戦後 70 年目の夏、8 月に入るも連続猛暑、日の出は遅くなりつつ「梧葉」「セミ」と共にすでに秋声。

安岡先生による『論語』講話も 9 回目となりました。

道徳の宝庫『論語』2500 年前の『論語』、安岡先生による講話は単なる文字の説明でなく体験談が加わり、わかり易く人間学そのものです。

第二部として鈴木岳靖先生から『漢詩』の吟詠が素晴らしいです。

どなたでもいつでも歓迎の千葉木鶏クラブです。

皆様のお越しをお待ちしています。

記

1. 日 時 : 平成 27 年 8 月 29 日 (土)
AM 9 時 30 分 ~ 11 時 30 分
2. 場 所 : 千葉生涯学習センター ☎043-207-5811
〈交通案内〉JR 千葉駅東口から 徒歩 8 分 駐車場有り
3. 会 費 : 1000 円
4. 演 題



第一部 『論語』から、「恒」・「狂」・「直」

- | | |
|---------------|-----------|
| (1) 恒あることは難しい | 『論語』述而第七 |
| (2) 狂と狷 | 『論語』子路第十三 |
| (3) 狂簡の青年 | 『論語』公冶長第五 |
| (4) 三疾 狂、矜・愚 | 『論語』陽貨第十七 |
| (5) ほんとうの直とは | 『論語』子路第十三 |

第二部 『東洋学と詩吟』

指導 鈴木 岳靖 先生 岳風会所属 (日本詩吟学院)

以上

[千葉木鶏クラブ](#) 代表兼事務局 [丸島 忠夫](#)

[Email: marushima_t@snow.plala.or.jp](mailto:marushima_t@snow.plala.or.jp) [Tel: 0475-25-1211](tel:0475-25-1211) [Fax: 0475-38-5153](tel:0475-38-5153)

第 9 回 「恒」・「狂」・「直」

(1) 恒あることは難い

『論語』：述而第七

「子曰く、聖人は吾得て之を見ず。君子者を見るを得ば、是れ可なり、子曰わく、善人は吾得て之を見ず。恒有る者を見るを得ば、是可なり。亡くして有りとなし、虚しくして盈（み）てりと為し、約（まず）くして秦（ゆたか）なりとなし。

難（かた）いかな、恒有ること。」

述而第七

< 解 釈 >

「今の世に聖人を見ることができなくても、君子を見ることができればよろしい」又言われた。「善人を見ることができなくても、平常と変わらず努力する者を見ることができればよろしい。無いのに有るかのように見せかけ、内容が乏しいのに充実しているかのように見せかけ、貧しいのに豊かのように見せかける者が多いが、どんなときにも変わらないのは甚だむずかしいことだね」

(2) 狂と狷

『論語』子路第十三

「子曰（のたま）わく、中行（ちゅうこう）を得て之に与（くみ）せずんば、必ずや。狂狷（きょうけん）か。狂者（きょうしゃ）は進みて取り、狷者（けんしゃ）は為さざる所有るなり。

子路第十三

< 解 釈 >

中道を歩む人と交ざることができなければ、必ず狂狷と交わりたい。狂狷は高い目標に向かって、まっしぐらに進もうとする者であり、狷者は、節操が固く悪いことは断じて行わない者だからである。

(3) 狂簡の青年

『論語』公冶長第五

「子・陳に在（あ）りて曰（のたま）わく、帰らんか、帰らんか。吾がトウの子、狂簡・ヒ然として章を成す。之を裁する所以を知らざるなり

公冶長第五

< 解 釈 >

「帰るとしようか、帰るとしようか。わが郷里の若者達は志は大きくても行がおざっぱである。うるわしい文様を織りなしているが、これを裁つて衣服に仕上げる方法を知らない。これから帰って彼等を教育しよう。

※ 陳 河南省中部にあった国

(4) 三疾 狂、矜・愚

『論語』陽貨第十七

「子曰（のたま）わく、古者（いにしえ）民（たみ）に三疾（さんしつ）有り。今や或（あるい）は是れ亡きなり。古（いにしえ）の狂やシ、今の狂や蕩（とう）。古（いにしえ）矜（きょう）や廉（れん）、今の矜や忿戾（ふんれい）。古の愚（ぐ）や直、今の愚や詐（さ）のみ。

陽貨第十七

< 解 釈 >

昔は、民に憂うべきことが三つあったが、今はどうやらそれさえなくなった。

昔の狂（志が大きく足もとをみない）は「し」（おおまかでこせこせしない）であったが、今の狂は蕩【（とう）きままほうだい】。昔の矜（自分を固く守る）は廉（節目を正して潔い）であったが今の矜は忿戾（起こって争う）。昔の愚は（おろか）は直であったが今の愚は詐（ごまかし）ばかりだ。

(5) ほんとうの直とは

『論語』子路第十三

「葉公孔子に語りて曰わく、吾がトウに直躬（ちよくきゅう）なる者有り。其の父、羊を壊（ぬす）みて、子（こ）之（これ）を証す。孔子曰く（のたまわく）、吾がとうの直（なお）き者は是（これ）に異（こと）なり。父は子の為に隠し、子は父の為に隠す。直きこと其の中（うち）に在り。

< 解 釈 >

葉公が先師に世間話をして、「私の村に正直者と評判のある躬（きゅう）という者がおります。彼の父が未を盗んだのを訴え出て、証人となりました。」と言った。先師が言われた、「私の方の村の正直者は、少し違います、父は子の為にかくし子は父の為にかくします。このように父と子が互いにかくしあう中に、人情を偽らない本当の正直があると考えます。

以 上

注：資料つくり「漢字」で苦労しています。

案内状発送の関係もあり、中途ですが取りあえず赤字で埋め合わせしています。

当日までに修正したいと思います。